

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	02	0402	森林環境保全事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》…何のために行うのか簡潔に目的を記載すること
 民有林の保全

《事業開始の背景》
 平成8年度に市内で松くい虫被害が確認されたことにより、駆除及び防除対策を開始した。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること
 ・赤松枯損木の伐倒駆除（焼却またはくん蒸）
 ・市有赤松への薬剤樹幹注入作業
 ・私有林赤松への樹幹注入に係る補助
 ・私有林の巡視

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》…今後の方向性を踏まえ具体的な取り組みを記載すること

《成果指標》…達成度合いを数値で表すこと

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 松くい虫被害面積	ha	目標	1,400	1,400	1,300
		実績	2,032	1,820	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当課長	(内線)
しごと	農林部	農村林務課	藤井 正昭	6-276

	25年度決算	当初(現計)	補正	年度	年度
事業費	119,929				
財源内訳	国県支出金	92,222			
	地方債				
	その他				
	一般財源	27,707			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

森林病虫害等防除事業 118,616千円
 ○森林病虫害等防除委託料
 【駆除分】市単独事業により、生活に支障の出る恐れのある箇所や景観上好ましくない箇所を重点駆除する。

区分	補助率	事業量 m³	事業費	負担区分		備考	
				国・県	市		
国庫	森林病虫害等駆除事業	75%/100%	4,284	88,942	78,901	10,041	加速化事業含む
	森林整備事業(衛生伐)	75%	410	8,169	6,126	2,043	
	小計		4,694	97,111	85,027	12,084	
その他	森林病虫害等駆除事業(県単)	75%	90	2,179	1,634	545	
	市単独事業	-	800	11,160		11,160	
	小計		890	13,339	1,634	11,705	
合計①		5,584	110,450	86,661	23,789		

【樹幹注入分】

区分	補助率	事業量 本	事業費	負担区分		備考	
				国・県	市		
国庫	森林病虫害等防除事業(胡四王/戸塚森)	75%	250	6,038	4,338	1,700	対象外300
	森林整備加速化林業再生基金事業	100%	150	1,223	1,223		
	合計②		400	7,261	5,561	1,700	
①+②			117,711	92,222	25,489		

○松くい虫樹幹注入補助金(市単)
 補助額 薬剤購入に要する経費の1/2以内
 H25実績 722本 × @2,500円 × 1/2 = 905千円

森林管理維持増進事業費 1,313千円
 1. 業務内容 私有林の巡視により災害の未然防止、森林育成のための調査、松くい虫被害発見等に役立てる
 2. 巡視活動の方法 巡視員の業務期間は、契約期間内において60日/年とし、森林の外観パトロールを行う。必要に応じて所有者を同行し、森林内の調査、指導を行う。
 3. 巡視員 巡視員は森林に関する知識と地域の実情を把握し、森林施業の適切な指導及び監督ができる者でなければならないため、森林組合へ委託する。

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	02	0402	森林環境保全事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	民有林の保全			
対象	民有林（市有林・私有林）及びその赤松			
意図	民有林を保全する。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 赤松枯損木の伐倒駆除（焼却またはくん蒸）
- 市有赤松への薬剤樹幹注入作業
- 私有林赤松への樹幹注入に係る補助
- 私有林の巡視

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 駆除材積	m3	計画	5,000	4,000	4,000
		実績	3,795	5,584	
② 私有林巡回回数	回	計画	240	240	240
		実績	240	240	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 松くい虫被害面積	ha	目標	1,400	1,400	1,300
		実績	2,032	1,820	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

被害が減少することではなく、県が定める被害地域区分も先端地域から高被害地域に変更になった。
 限られた予算と投下できる作業量から考慮すると全量駆除は困難であり、被害が激減することはないと考える。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
 森林機能の維持を図るための駆除であったが、最近は市街地でも被害が発生しており枯損による倒木により生活に支障をきたすおそれがあるので早急の処理を望まれている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	森林の機能維持、林業振興の妨げになる森林病虫害であるので駆除は必要。また、市街地における生活に支障になる倒木を防ぐためにも必要な事業である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	被害対策防止のためのあらゆる対策を講じているが、根絶にはつながらない。しかし、事業を中断することは森林の荒廃から林業振興の停滞、生活に支障を来す危険な枯損木が増加するので事業を継続する必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	被害の蔓延化により、補助金の確保が困難になっている。駆除の方法や区域の見直しを検討し、効率的な駆除をすすめる。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	市内全域で駆除しているの適正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括
 県内においても被害が北上し、本市においては被害が蔓延化している状況にあり、被害拡大防止に限界がある。守るべき松林の計画的な防除と樹種転換等より一層計画的な防除対を図る必要がある。